

長野市公文書館便り



2015 AUTUMN

●発行日：平成27年(2015年)11月12日 ●発行：長野市公文書館

©NaganoCityArchives

平成27年度 長野市公文書館講演会 「真田家の歴史」

—戦乱から泰平へ—

講師 松代文化施設等管理事務所 降幡浩樹氏

家族の“絆”で戦乱を 乗り越えた真田氏



講演する降幡氏

10月16日、「平成27年度長野市公文書館講演会」を開催しました。

今年度の講演会では、真田家の歴史について松代文化施設等管理事務所（真田宝物館）学芸員の降幡浩樹氏に講演をお願いしました。

来年は、平成19年の「風林火山」以来8年ぶりに長野県を舞台にしたNHK大河ドラマ「真田丸」の放映が予定され、撮影も順調に進んでいるようです。真田宝物館でも関連した特別展を計画し、調査研究が進められています。その成果を紹介いただきながら、さらに真田氏がわかるお話をしていただきました。

真田氏は、戦国時代の小県郡から上州沼田（群馬県沼田市）にまたがる地域の領主で、海野氏を祖とし、繁栄の基盤を築いた幸隆は武田信玄の家臣として活躍。長篠の戦いでは、嫡男信綱、次男昌輝が戦死、三男昌幸が家督を継承します。沼田から上田に進出し、慶長5年（1600）関ヶ原の戦いでは、嫡男信之（信幸改）が東軍で、昌幸・信繁（幸村）は西軍として戦っています。

外様大名となった信之は、元和8年（1622）、10万石の藩主として松代に移封されましたが、以降10代250年にわたって領地を治めています。

講演の前半、降幡氏は、群馬県沼田市から長野県上田市、上田市真田町、長野市松代町など関係する地域をくまなく踏査されて収めたスライドを提示しながら、真田氏の歩みを話されました。

後半は、関ヶ原の戦いから大坂冬の陣、夏の陣の際のいくつかの書簡や史料などをもとに、より具体的に真田氏が一族の絆を深めながら断絶の危機を乗り越え



講演会の会場風景



スクリーンで分かりやすく解説する降幡氏



講演後の質疑・応答では、熱心に聴講された方から真田領の人口や昌幸・信之の人柄を示す史料に関し質問がありました。



ていった様子についてお話いただきました。

真田氏については、聴講者の関心も高く、130人以上の参加があり、椅子を付け足す状況で、最後まで熱心に聴講されていました。



【調査・移管】

8月26日～27日 鬼無里小学校から書籍、戸隠地質化石博物館から歴史資料をそれぞれ移管しました。

また、市立博物館からは東福寺区有文書を移管しました。この作業には、博物館で職場体験学習をしていた更北中学校生徒3人も参加し、一生懸命に資料の運搬をしていました。



作業中の中学校生徒

9月4日 国文学研究資料館で専門主事が真田家文書のマイクロフィルム撮影のための予備調査を行いました。

10月7日～9日 先に国文学研究資料館で調査した真田家文書のマイクロフィルム撮影に専門主事が同行しました。今年度2回目の撮影となり、1回目と合せて13,000コマをマイクロフィルムに収めました。

【公開資料（8月～10月）】

- ・露木家文書（278点）
- ・田中勝之文書（48点）
- ・川田村役場文書（64点）
- ・図書（74点）
- ・内岩望文書（26点）
- ・保科村役場文書（24点）



「覚」（江戸から松代まで番所通行願）
（露木家文書）



「満洲信濃村建設の契」
長野県職業課
（田中勝之文書）

【視察・見学】
9月10日 みどりの見学で、34人が来館しました。

当館の概要や利用方法などの説明を館長から受けた後、専門主事の案内で館内の書庫や作業の様子を見学しました。



【授業講師】

9月10日 市立長野高校から講師依頼があり、当館専門主事が講師を務め、高校生・市民の皆さんに江戸時代の庶民教育について授業を行いました。

【研修・会議等】

8月31日～9月4日 国立公文書館開催の「アーカイブズ研修Ⅰ」を、当館の専門主事が受講しました。

この研修は、公文書館等の職員を対象に5日間の日程で行われ、歴史資料として重要な公文書等の管理や保存及び利用に関する基本的な事項の習得を目的に行われています。

当館では、さらに上級の「アーカイブズ研修Ⅲ」を受講するなど職員の資質向上にも努めています。

【TV取材等】

長野朝日放送「みつめて信州生テレビ 2015」やテレビ朝日「なにこれ珍百景」、フジテレビ「おじゃマップ」などから取材を受け、資料の閲覧や専門主事のインタビューがありました。それぞれの番組では、当館所蔵の古い町並みの資料や地図、TV視聴者が珍しいと疑問に思っ投稿した記念碑の解説の様子などが放映されました。



当館へお越しく下さい

当館にはこの時期になると、大学生などが多く訪れます。県外からも来館し、研究や卒業に向けた論文などで当館の資料を活用しています。研究・調査等で資料を探している方はぜひ来館してみてください。

多くの皆さまのご来館をお待ちしております。

こんなときにはご相談ください。

- ・古い土蔵などを取り壊すので、所蔵資料を寄贈・寄託したい。
- ・所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。

長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)
 電話 026-232-8050 F A X 026-232-8051
 H P http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/
 又は **長野市公文書館** で検索
 E-mail shomu-9@city.nagano.lg.jp
 開館時間 午前9時～午後5時（閲覧申込みは午後4時30分まで）
 休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日
 年末年始(12月29日～1月3日)

紙上パネル展

戦後70年 15年戦争下の長野市民

10月9日から10月18日まで長野市城山分室共用会議室においてパネル展を開催しました。

今年、戦後70年という節目の年であり、多くのメディアや博物館などで特集番組や特別展がありました。

長野市公文書館では、昭和6年(1931)の満州事変から昭和20年(1945)の太平洋戦争終結まで15年にわたる戦争の時代を長野市民はどう生きたのか。「15年戦争下の長野市民」と題して、当公文書館所蔵の史料や長野空襲の写真などから当時を振り返ってみました。

- 昭和16年頃に長野駅前で行われた防空演習の様子(金久保喜久氏撮影)。後方に見えるのは昭和11年に完成した仏閣型の長野駅舎。



駅前防火訓練



住民によるバケツリレー

- 「国鉄長野工場空襲記録」(昭和20年8月13日、風間芳男氏撮影)。当時国鉄長野機関区の職員だった風間氏が撮影したもので、どの写真も被爆直後の生々しい光景である。



長野工機部被爆跡



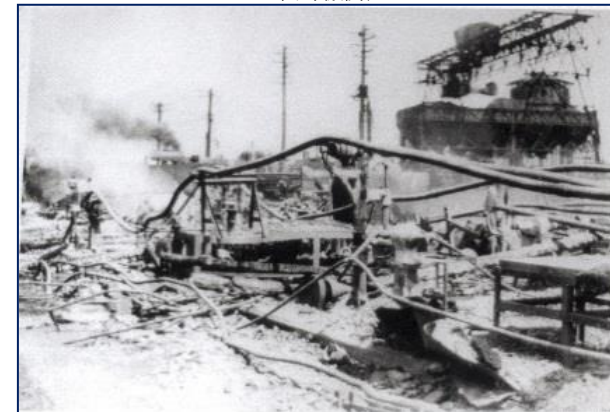
工機部内爆弾落下跡



工機部材料試験室跡



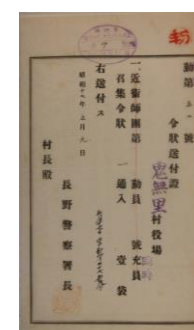
長野機関区



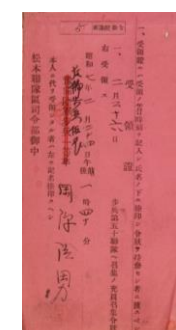
食堂の焼跡



食堂の一部と炊事場



「令状送付証」(鬼無里村)



「召集令状受領証」
松本歩兵五十連隊へ(鬼無里村)

終戦2日前 長野市にも空襲が!

長野市でも空襲に備え、何種類もの防空ポスターを配布して市民に呼びかけ、徹底して防空演習を実施しました。金久保喜久氏(故人)は、長野駅前の防空演習でのバケツリレーの様子をカメラに収めました。

昭和20年8月13日、午前7時前から5波に分けて長野市にも空襲がありました。終戦2日前のことでした。鹿島灘から飛来した艦載機による爆撃と機銃の攻撃でした。47人もの死者が出ました。当時、機関区に勤務していた風間芳男氏(故人)は長野駅、長野機関区、工機部が攻撃を受けた直後の写真を撮影していました。

どちらも、戦争で物がなくカメラやフィルムが手に入らない時代に大変貴重な記録資料を残していただいています。

パネル展の様子については、信濃毎日新聞や長野市民新聞、信越放送の取材がありました。信越放送のテレビやラジオの放送では、写真の撮影者である風間さんや金久保さんのご遺族の思いにもふれて、丁寧な紹介があり、パネル展に花を添えていただきました。

期間中は多くの市民の皆様のお来館があり、70年前の戦時下、長野市民の様子に思いをはせていただきました。

パネル展の様子



写真撮影者風間氏のご遺族が来場したときのテレビ局取材の様子



パネル展のおしらせ

来年2月に善光寺下、東町の「門前商家ちよつ蔵おいらい館」で同展を開催します。
ぜひお越しください。

○会場：門前商家ちよつ蔵おいらい館内市民ギャラリー

○日時：平成28年2月2日(火)～14日(日)

午前9:00～午後5:00